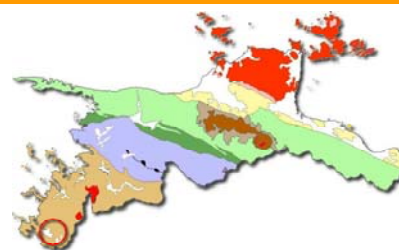


愛南町御荘長月

段丘堆積物と砂岩層の不整合

愛南町立長月小学校の北西600m

キーワード 礫、砂岩、不整合、段丘



イメージ

土石流



露頭全景

砂岩層を礫層が不整合でおおっているのを観察することができる。下位の層は、固く固結した均質な砂岩で、上位は未固結の礫層である。礫は、ほとんどが下位にある砂岩で、大きなものは直径40cm程度であるが、分級度は悪く、様々な大きさの礫が砂や泥の中に含まれている。不整合面は、起伏がある。侵食を受けて地表に表れた砂岩層の上に、大洪水か土石流によって大量の土砂が運ばれてきて堆積したものと考えられる。また、右の写真のように、礫の長軸が一定方向を向いているインブリケーションを観察することができる。



〔地層について〕

下位の砂岩層は、白亜紀に形成された四万十層群のものである。この地域の堆積岩は、一部ホルンフェルス化しているものがあり、この露頭の砂岩も非常に固い。上位の礫層は、更新世に堆積したもので、河岸段丘を形成している。

観察地点



国土地理院発行2万5千分1地形図「城辺」を使用した

堆積岩

火成岩

変成岩

新生代

第四紀

第三紀

中生代

白亜紀

ジュラ紀

トリアス紀

古生代

ペルム紀

石炭紀

デボン紀

シルル紀

オルドビス紀

カンブリア紀

先カンブリア時代